



写真・市谷 健 春らんまん

キレイになるには

「いくら塗り重ねてもだめです。きれいになるには、まず、ヨゴレをすっきり落とすこと。ほおつておいたら、すぐにくすんでしまう。だから私は毎日、一生懸命磨いていますよ。」

九州で開かれたダスキンの経営者勉強会で、高齢の加盟店主が若い後継者たちへのメッセージを語りました。

「まずあなたがキレイにならないと、お客様は認めてくれません。キレイになることは人間を磨くことなんだと思います」。鹿児島訛りの熱い言葉に聞き惚れていると、

「この話じつはお客様係にいつも言っていることなのです。ささやかですがうちでも化粧品と健康食品を扱っています。あなたがキレイになってくれなくては、お客様は信用してくださらないですよ。」

私が磨ぎをかけているおかげで、うちの女性たちはみんな生き生き輝いていますよ、とユーモアをまじえた話でした。考えてみると、磨かなければくすんでしまう点では、経営もキレイになることも同じ。素顔の美しさを保つことが、磨くことなのかもしれないと思いました。店主はこう続けました。「キレイになろうよと、強く求めるのです。求め続けましょう。きつと、輝ける。途中で放り出したらいけません。」

株式会社ダスキン会長

伊東英幸

喜びのタネまき新聞

読む人の幸せを心に願って作る

no.489

いのちのいろ

(14)
絵と文
葉っぱの画家
群馬直美

長いことおつき合いただいた「いのちのいろ」は、今回が最終回。
日本とイタリアの葉っぱが融合する
モザイクのような絵でしめくりましょう。
今まで応援してくださった皆さま、ありがとうございました！

葉っぱは国境をこえて

葉っぱもイタリアン？

同じ人間でも日本人と外国人が少し違うように、同じ木でも国によって葉っぱの様子が違うのかな、と思っていました。

ところがイタリアに行つてびっくり！ ヴェネチアの船着場にたたずむヤツデの木。ローマの目抜き通りに並ぶアメリカスズカケノキ。あれもこれも、家の近所で見かけるものとまったく同じ。

あちこちで日本との違いを探したけれど、見当たりません。ヴェローナの駐車場で見かけたイチヨウの葉っぱが小さいのは、老木だったから。カラカラ浴場に行く途中で出会ったイチジクは日本のと違う？ と思ったのもつかの間、帰国後、日本にも同じ形の葉っぱがありました。私が見た、少なくとも街路樹の葉っぱに国境はない！ 固有の種を別にして同じ葉っぱがすまし顔でそこにいて、手をつないで地球を取り巻いている。自然を大切にしたいと思いました。

葉っぱの精神

もうすぐ新緑の季節。葉っぱから街路樹、花へ、実へ、野菜へ、いのちの色へ、と私の描く世界はどんどん広がってきましたが、道に迷いそうになると、29年前の輝く新緑との出会いに立ち戻ります。「ありのままの自分でいいんだよ」と、音楽のように響きわたる葉っぱの声に深く癒されたあのときに。

「この世の中の一つひとつのものは、すべて同じ価値があり、光り輝く存在である」という「葉っぱの精神」を教えてくれた、葉っぱたち。

国境をひらりと越える感覚の葉っぱを見習って、かけがえのない一人ひとりが、いろんな違いを認め合い、手をつなぎ合えるように、これからも発信し続けていきたいと思っています。

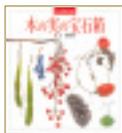
また、どこかでお会いできるといいですね。一人ひとりの上に、限らない木の葉の祝福がありますように！

長い間、ありがとうございました！！



イタリアと日本の葉っぱ／板にテンペラ

アート&エッセイ。
[木の葉の美術館]「木の葉の宝石箱」
(各2100円)。
最新刊「街路樹 葉っぱの詩」(B5判232
ページ/2310円)いずれも世界文化社刊
(価格は税込み)。



群馬直美／群馬県高崎市生まれ。
東京都立川市在住の画家。
作品はインターネットでもご覧になれます。
<http://www.wood.jp/konoha/>

春巻ききの皮を使って「揚げたて！和菓子」

春巻ききの皮にかぼちゃあんとゆで小豆を重ねて巻いたものと、栗の甘露煮にゆで小豆を合わせて巻いた2種類の簡単揚げ菓子を作ります。揚げたての皮はパリパリで中はとろとろ。作っているそばから、ついひとつ、またひとつとつまみ食いしたくなる美味しさです。

お料理研究家 こいけりえ



おやつ時間

簡単、美味しい楽ラクレシピ



◎作り方(2種で10個分)

●かぼちゃあん

皮を剥いたかぼちゃ150gを乱切りにし、耐熱皿に入れ、ラップをふんわりとかけて、電子レンジで約3分加熱する。やわらかくなったらかぼちゃを、フォークなどで潰してペースト状にする。潰したかぼちゃにみりんとグラニュー糖各小さじ1を入れてよく混ぜ合わせ、かぼちゃあんにする。

●ゆで小豆と栗の甘露煮

栗の甘露煮4〜5個は、それぞれ縦に4つくらいにカットする。市販のゆで小豆は200gを用意する。

◎春巻ききの皮で巻く

春巻ききの皮10枚は、冷蔵庫から出して15分くらいおいておくと1枚1枚剥がれやすくなるので事前に準備しておく。春巻ききの皮の中心に、まず、5等分したかぼちゃあんを長方形に伸ばして広げ、その上にゆで小豆を同じように、形を合わせてのせる。空気が入らないようにしっかりと包みあげて、上端に水溶き小麦粉をしっかりと塗り、きちんとはめて巻き上げる。同じようにゆで小豆を長方形に形を整え、広げた上にカットした栗1個分を均等に並べて包み、巻き上げる。それぞれ5個ずつ作る。

◎揚げる

巻き上げたものを、170℃の油でカラッと揚げ、両面がキツネ色になったらOKです。ペーパータオルの上のせて余分な油を切り、かぼちゃあんの方にはシナモンシュガーを全体にふりかける。それぞれを斜めにカットし、中味が見えるようにお皿に並べて出来上がり。



ハリハリの皮がおいしい



細長くてなかく四角く包むのがコツ

みてもらおう！お写真！

見てうれし、見せてうれし、この写真。わたしの出番の1枚を送ってください。



「どう、息びったりで、そろってる？」
福島市 阿部長子



「運動会でもらった金メダルだよ」
三重県名張市 森脇佳余



「ジジ、だっこ！」
愛媛県伊予市 高田暁美

家族や友だちにしか撮れないステキな笑顔、みんなに見てもらいたいわたし好みの1枚。もちろんかわいいペットも撮れたら送ってください。お待ちしております！
(詳細は7ページ)

ミニSSLを、
みんな楽しみに
しているの

奈良県の香芝市関屋
には、毎月2時間、
ミニSSLが走る。自宅
に線路を敷いた村本
順三さん。

ぜんぶ手作りの 関屋鉄道

趣味がこうじてとお
つしやるが、地域で名
高い「関屋鉄道の走行
会」。みんな喜々として
乗り込み、いざ出発。
心躍るファンタジーの
一瞬だ。



「毎月毎月、孫といつしよに
待っています。ありがたいわ！」

「楽しいよお」と座席で叫んでいる子。危険防止
のため手足を動かしてはいけない規則なので、行儀
よく乗っているが、全身でニコニコしている。見守るお
じいちゃんが「毎年どんどん増えるなあ」。乗客は
来ては去り、帰っては来て、途切れない。

4両連結、大人でも16人が乗れるしっかりした
作りの座席は、3周ほどで入れ替えとなる。孫や
子連ればかりでなく、若い3人連れも。

「オツ、関屋鉄道だ！ めっちゃ、テンション上がっ



てん！」と笑っていた。走行会の日程は前もって家の
塀に貼り出されるとか。ご近所や、その親せき・知
人の知る人ぞ知る「地域の素敵な催し」なのだ。

「私達は北海道。実家が近所なので、帰ると乗り
に来るの。もう、毎年！」と家族連れ。おばあちゃ
んが帰ろうと促しても座り込む子に、「帰ってくれ
へんのや」と抱き上げるお母さん。乗車中の様子を
パッチリ写そうとカメラを構えるお父さんもいる。

トンネルやなだらかな高低のある庭、木々もう
まく配置され桜の花が数輪。小川をまたぐ鉄橋も
あり、全てが庭の周りを廻るミニSLに乗った時に
変化が楽しめるように造られていた。

物作りの面目躍如

ここまでやればカンペキ

村本さんのミニSLにはC5614とある。「C5
6という型の蒸気機関車の8分の1、平成14年製と
いう意味なんです」本物と一緒に石炭を燃やして
蒸気で走る。線路の幅は5インチ、127ミリで国
際規格なのだそうだ。連結も本物そっくり。2千本
の枕木を自分で敷き、枕木を止めるネジも手作り
というから、ハンパじゃない。走る音が違うらしい。
出来上がるまでに3年もかかったとか。

煙がもくもく出て、吹き出す白い蒸気も凄い。
村本さんの顔は黒くて湿って、ワケ分からないこと
になって、時々、家の中から奥さんと娘さんが顔を
拭くおしほりタオルを持って、出てくるのだ。

村本さんの友人が「本当は準備も片付けも大変」
と言う。石炭の火をおこし燃やし続けて、初めて
蒸気圧がかかる。本物は止まっている時でも石炭を
くべる。ミニSLでも同じ構造で「面倒な人は煙や
蒸気が出ないけどプロパンで走らせるね。片付けは、
鉄と蒸気だから錆びる。手間がかかるんだ」

「彼は鉄工屋さんだからね」蒸気圧の制御や安全
性も知った上でこだわりの物造りをする人への、最
高の賛辞と思えた。

関屋鉄道・社長と自称する赤帽の運転手、村本
さんは「子どもの楽しい顔がいちばん嬉しい。物作
りに興味をもってくれば」という。本業は教育や
事務、製本機器などを製造する、まさに物作りの
会社の社長さんである。



「皆さまの安全を守る
ためにも正しい乗車
にご協力を」と言う村
本さん。運転中は緊
張して無口なのだ。

左下／赤く燃える釜の火。右下端／炭は2種を混ぜる。
燃えにくい高カロリーの炭は動力に、燃えやすい低カロリーの炭で煙モクモク。



ほ



ほ



え



み



の



ひ



ろ



ば



桜

兵庫県加東市 浅見修代

娘の大学合格が決まりました。娘が家を出て、下宿生活に移る日まで、毎日、一緒に犬の散歩に出かけていました。近くの公園の桜の蕾がふくらむ様子を見ながら歩く一時は楽しく、別れの日が近づく寂しさも増してゆきました。娘が家を出ると、すぐ桜は満開になり、一人で歩く桜の木の下は、ついこの間まで一緒だったのにと、かえってむなしい思いでした。

ある朝、桜が風に吹かれて吹雪のように舞っています。その中を歩いてみると、ふと今日が自分の誕生日であることに気がきました。私は桜の咲く季節に生まれたんだ。両親を早くに亡くし、自分が生まれた頃のことを、ほとんど知らない私は、桜の木の下で私を抱いて微笑む母を想像しました。今年の桜はことのほか切ない思い出となりそうです。

——ハジメテの桜……。みせる思いも重なっ。



お百姓さん

神戸市 有澤恵美子

実家で通勤農業を始めて5年。初めは、父に「ああしろ、こうしろ」とうるさく言われ、ムツとしては、今度こそは来年こそはと、日誌をつけて努力したかいがあって、一通りのことが分かってきました。JAさんや近所さんとのおしゃべりは楽しいだけではなく、実的確なアドバイスで生きた勉強です。なるほど、と目から鱗が落ちることもしばしば。おかげさまで、もうやめられません。落ち穂一本、菜っ葉一枚も無駄にせず、親指ほどの芋類も大事に……。とにかく採れたものは愛しくてたまりません。「百姓は毎年毎年が1年生なんや。お天道様のご機嫌もあるし。これからも一緒にしような」隣の80才のおばあちゃんの言葉にまたまた元気が出てきました。『ナメクジ・青虫に注意！』と、おすそ分けの時にはしっかりと書きまあす。

——青空と大地のまんなか立っ。



宅配便

三重県鈴鹿市 藤田礼子

びっくり仰天！先日、突然宅配便で美味しい手作りの、味ごはんが宮城県から届きました。送り主は、3年前に亡くなられている主人の友人の奥様でした。実は私も一昨年の12月に病で主人を亡くし、気落ちしていました。その奥様とは6月頃に一度お会いしたきり。

ご自分の経験から送ってくださったのかしら。「早く元気を出して下さい」と言われているようで、なんだか気持ちも楽になり、本当に嬉しくて、すぐにお礼を言いました。「オカンみたいな人やな」と言ったのは息子。シャイでいつもそばにいてくれる息子、宮城県の新しい友、この繋がりくれた主人、3人にありがとう！

——励まされる日々。



成長

東京都東村山市 元橋宏子

四月から中学生になる孫に、「部活は何をするの」と聞くと、「部活をすると帰る時間が遅くなるから、お母さん一人になっちゃうよ」。そんなことを言っていたと娘から聞きました。

平成13年の夏、突然娘が急性リンパ性白血病になりました。当時まだ幼かった孫は、ママの病気がどんなに大変なものか理解出来るはずもなく、入院のため、ママに甘えられない寂しさ、突然保育園に預けられた環境の変化に、ショックを受けていました。1年近い闘病の結果、中1のお姉ちゃんの血液型が奇跡的な確率で一致し、血液移植が出来ました。

移植から6年が過ぎ、今家族が一つになって、幸せな日を送っています。「強い子になってお母さんを守ってね」と話した事をしっかりと覚えていてくれて、あんなにお母さんにピタリくっついて甘えていた子が、いつの間にか頼もしい男の子に成長していたのだと思うと、とても嬉しくなりました。

——乗っかえっ……。

思いやりは、氣のつくこと。
親父さんがガミガミおこるのも、
自分の思う通りしてほしいのだ。
また若い者が、フテクサレて仕事もせず、
寝込んでしまうのも実は甘えたいのだ。
皆さびしいのだ——そう気がついたら、
やさしくいたわってあげる事だ。
そうしたら、この世は
もっと住みよくなるだろう。
人が迷っている時に、
惜しみなく力を貸す事だ。

鈴木清一

花もさかりの…わたし達まだつぼみだけど。



東京都福生市 仁平ちほり

●みなさまからお寄せいただいたお話をもとに新聞をつくってまいります。

どうぞ、あなたが体験した嬉しかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

●投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。

紙面やホームページで紹介させていただいた原稿や写真にはお礼をさせていただきます。

●送り先

〒163-0223 東京都新宿区西新宿2丁目6番1号
新宿支店新宿住友ビル内分室 私書箱 第47号

ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室

電話 03(5909)6703

e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

無料 おそうじ相談
実施中!

ダスキンコールセンター
平日の9:00~17:00
0120-100-100

●2ページの群馬直美さんの連絡先は
〒190-0013 東京都立川市富士見町2-32-27 石田倉庫No.3 2F

●4-5ページの関屋鉄道の村本順三さん
場所/奈良県香芝市関屋 青葉台住宅(入場無料)
予定は以下のブログで見ることができます(不定期・だいたい毎月)
ホームページ: <http://ameblo.jp/sekuya-tetsudou/>

あなたのお便りや
写真をお寄せください



元氣あまつて

群馬県太田市 中里順代

8才の息子は元氣いっぱい。外遊びが大好きです。

先日、門限を破ったので、お説教だと待ち構えていると息子の友達が、「大変だよ！木の上で逆さまになっちゃったよ。早く来て！」と私を呼びに来ました。急いで行ってみると、息子の足首が木の枝にひっかかり宙吊り状態。慌てて私も木に登りましたが、息子を支えるのがやっとなので、下ろすことが出来ません。騒ぎを聞きつけた方が手伝ってくれても下ろせません。二人がかりで息子を支え、119番に通報。
幸い、息子は切り傷程度で済み、感謝の気持ちでいっぱいです。今後はせいぜい「今日は秘密基地を作った」くらいにしてほしいです。

——わんぱくだなあ——



主夫

福島県いわき市 高山義弘

定年を機に専業主夫を始めて早2年、初めは煩わしかった。妻は縫製のパートをしている。

洗濯物を干すと、自分のやり方と違うので、いちいち洗濯物を掛け直していた。台所の生ゴミの片付けも私流でやると、妻流にやり直され小言を言われた。イヤイヤ参った。緊張した。今はどうか。私は、千以上もレシビがある「今夜のおかず」の本を手に料理をする。

最近はお父さんの料理には敵わないと言つて、主婦業は全くやらさず。エアロビだ、ダンスだと言つては、私が会社時代に家族そつちのけで、お茶やらサッカー審判をやっていた頃と同じ様な事をやって楽しんでる。主夫をやつてみて家事が大変な事がよく分かった。

——よしよし(妻)。



～読者より～ お米は一粒、紙は一枚から

とても小さなことでも、「エコにつながるのでは？」と考えながら生活しています。その一つは「はがき」です。贈答品などの真っ白で少し厚めな紙。意外にたくさん使われていて、そのまま捨てるのは気が引けます。それをハガキ大に切り、表に「郵便はがき」と記して使っています。ほんの少しの事ですが、紙の原料となる木の何万分の1でも、伐採が減るよう願っています。そして、毎日食べる食事もお米の1粒、お茶やコーヒーの1滴でさえ残してしまえばゴミ。集めたらどれだけの量になるのか考えて大切に食べています。とても小さな地球への心遣いです。(山口県岩国市 上岡美智子)

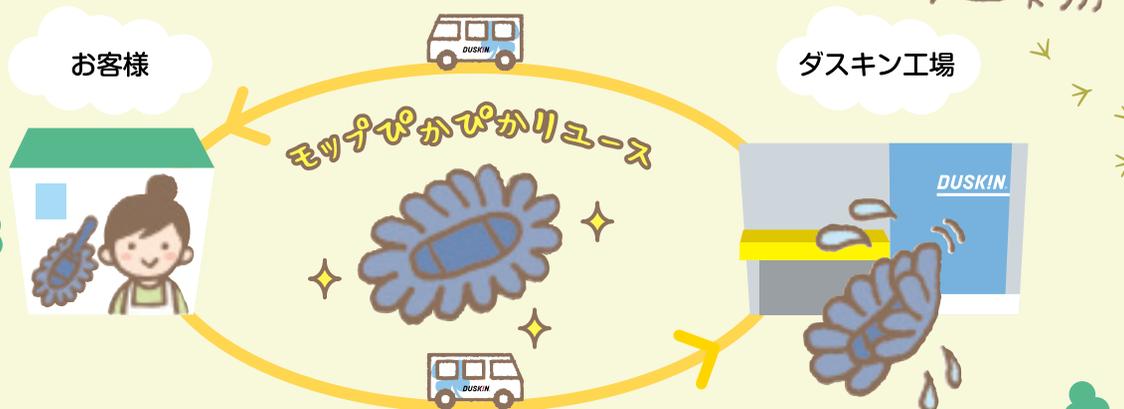
—編集室に丁寧な手作りはがきが届きました。



環境コラム「ecoらんど」にみなさまの身のまわりのエコ話をお寄せください。

Q. 使い終わったモップはどうなるの？

生まれ変わるんだよ。
何度も新しく
生まれ変わるんだよ。



A. モップは捨てないで、きれいに洗っているの。

お客様が使ったレンタルモップやマットは、ダスキンのお客様係が100%回収(1日約78万枚)します。回収されたモップやマットは、ダスキンの工場ですっきり洗って、お客様のもとへ再びお届けします。

詳しくはwebで

ダスキンのエコ

検索

(ダスキンの環境シンボルマーク)



お楽しみクイズ

レンタルモップやマットは1日に約何枚回収されているでしょうか？

おせらいだよー。



- ① 18万枚 ② 48万枚 ③ 78万枚

正解者の中から30名様に「キッチンきれいセット」をプレゼント!



下記の要領でご応募ください。

- ◆官製ハガキに
 - ①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥性別
 - ⑦電話番号⑧現在ご利用のダスキンの店名をご記入の上、下記あて先までお送りください。
 - ◆締め切り 平成22年4月16日(金)当日消印有効
 - ◆ダスキンの関係者の応募はご遠慮ください。
 - ◆当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。(平成22年5月中旬お届け予定)
 - ◆あて先 〒163-0223 東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル23階(私書箱47号) (株)ダスキンの「喜びのタネまき新聞」クイズプレゼント係
 - ◆応募に関してのお問い合わせ TEL:03-5909-6703
- ※抽選結果に関するお問い合わせはお受けできません。予めご了承ください。

今回ご応募いただいた個人情報については、(株)ダスキンの範囲内でのみ利用させていただきます。プレゼントの抽選・発送の目的以外には使用いたしません。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、(株)ダスキンの「喜びのタネまき新聞」クイズプレゼント係 TEL:03-5909-6703 までご連絡ください。

●この新聞をお届けしているのは

株式会社 **ダスキンの**

発行：広報・広告部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

編集：「喜びのタネまき新聞」編集室

〒163-0223

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル23階(私書箱47号)

TEL:03-5909-6703 FAX:03-5909-6771

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただく場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキンのグループ企業と加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。

個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンのコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキンのコールセンター

0120-100100 www.duskin.jp